

【別 添】

三陸やまだ漁協地域養殖復興プロジェクト計画書

(織笠地区カキ・ホタテ養殖部会)

地域養殖復興プロジェクト名称	三陸やまだ漁協地域養殖復興プロジェクト	
地域養殖復興プロジェクト運営者	名称	三陸やまだ漁業協同組合
	代表者名	代表理事組合長 生駒利治
	住所	岩手県下閉伊郡山田町中央町 11番14号
策定年月	平成24年5月	
計画期間	平成24年6月～平成29年3月 ※ 平成24年6月から3漁期の収穫・販売が完了する平成29年3月を想定	

1 目 的

三陸やまだ漁業協同組合は岩手県の県央部に位置し、平成21年10月に旧大浦漁協、織笠漁協、山田湾漁協及び大沢漁協の4漁協が合併して発足した、組合員数955名（うち正組合員623名、准組合員332名（平成24年3月末現在））を有する県内でも規模の大きい漁業協同組合である。当漁協の主力産業はカキ・ホタテ・ワカメ・コンブ・ホヤを中心とした養殖漁業であり、この他にはサンマ・タラ・イカ・アミを中心とした漁船漁業に加え、漁協自営の定置漁業及び鮭増殖ふ化事業を行っている。しかしながら平成23年3月11日に発生した東日本大震災の大津波により養殖施設及び水産物並びに漁船等が壊滅的な被害を受け、今後の漁業継続が困難な状況となった。その中で当組合織笠支所においては、カキ・ホタテ業者70経営体あったものが、震災後に13経営体（うち1経営体は震災前に一時休業していたが、震災直後から養殖漁業に再度従事したいとの希望からプロジェクトへ参加）が協業体を組織し、共同による養殖資材の購入、生産管理及び品質管理の徹底を図りながら養殖漁業の復旧復興を目指し、漁業経営の安定を図ることを目的とする。

2 地域養殖復興プロジェクト参加者等名簿

(1) 三陸やまだ漁協地域養殖復興協議会

区 分	所 属	役 職 名	氏 名
漁業協同組合	三陸やまだ漁業協同組合	代表理事組合長	生 駒 利 治
養殖関係団体	三陸やまだ漁協大浦支所	大浦地区運営委員長	山 崎 練 磨
〃	三陸やまだ漁協織笠支所	織笠地区運営委員長	菊 地 敏 克
〃	三陸やまだ漁協山田湾支所	山田湾地区運営委員長	上 林 實
〃	三陸やまだ漁協大沢支所	大沢地区運営委員長	福 士 一 郎
地方公共団体	宮古水産振興センター	水産振興課長	清 水 道 彦
〃	山田町水産商工課	水産商工課長	伊 藤 勝 幸
学 識 経 験 者	岩手県漁連北部支所	支所長	湊 博 志

(2) 織笠地区カキ・ホタテ養殖部会名簿

区 分	所 属	役 職 名	氏 名
漁業協同組合	三陸やまだ漁業協同組合	区画担当理事	阿 部 喜 蔵
養殖関係団体	織笠かき帆立養殖組合	組合長	湊 洋 造
〃	織笠かき帆立養殖組合	副組合長	澤 村 実
地方公共団体	宮古水産振興センター	主査水産普及指導員	佐 藤 弘 康
〃	山田町水産商工課	水産商工課長補佐	甲斐谷 芳 一
学 識 経 験 者	岩手県漁連北部支所	業務第二課長	長 洞 弘

3 震災前の養殖業の概要

織笠支所の主な養殖業はカキ及びホタテの養殖であり、その水揚金額は平成21年度実績でカキが約3,800万円、ホタテが約4,300万円となっている。しかし過去5年間の水揚実績を見ると、最高水揚金額でカキが約5,600万円、ホタテで5,700万円の水揚げがあり、平均でもカキが約4,900万円、ホタテが約4,900万円の実績となっている。

・震災前の施設等の状況

施設名	所有者 (個人・共同利用の別)	規格	施設数
養殖施設	個人所有	筏式 12m×4m 延縄式 50m×2本	カキ 12名 104台 ホタテ 12名 107台
陸上施設	共同利用 (三陸やまだ漁協所有)	新棟かき・ほたて処理場 (235.22㎡) A棟かき・ほたて処理場 (235.22㎡) B棟かき・ほたて処理場 (235.22㎡) 小松ヶ鼻かき・ほたて処理場 (235.22㎡)	1棟 1棟 1棟 1棟
作業船	個人所有	10トン未満漁船	21隻

4 被災状況

施設名	規格及び数量	被害金額	被災内容
養殖施設	カキ筏式 12m×4m 74台 ホタテ延縄式 50m×2本 107台 (小計)	14,800千円 42,800千円 (57,600千円)	ほぼ流失 全量流失
陸上施設	かき・ほたて処理場 4棟	11,357千円	全損
作業船	10トン未満漁船 13隻	9,650千円	流失
養殖生産物	カキ 104台分 ホタテ 107台分 (小計)	12,582千円 24,966千円 (37,548千円)	流失
合計	—	116,155千円	

5 計画の内容

(1) 共同化の取り組み

共同化による養殖・生産を行うことから、以下の取り組みを通じ、消費者に安定した品質の生産物を提供する。

① 生産作業の共同化

養殖漁業就業者が13名と少ないことから、「楽をして働く」をモットーに一人ひとりに作業負担が集中しないよう各種養殖機器類を導入し、種苗購入から出荷までの全ての作業を共同で行い、作業の効率化及び省力化を目指す。

② 品質向上のための施設配置

震災前の養殖生産物の密殖による生育不良の経験を踏まえ、施設ごとの生育にバラつきがなく均等に生育するよう、共同で漁場配置を考えて生育状況を把握し、良質の製品作りを目指す。

③ 生産管理の徹底

全量組合出荷体制を取ることで、数量の把握による安定した販売体制を確立し、共同で品質基準の統一化を図り、販売先からのニーズに対応した出荷を目指す。

④ JF 三陸やまだブランドの確立

かき小屋への共同出荷を継続しつつ、更に新たな販路の開拓に努め消費者に直接提供する機会を増やし、幅広い層に三陸やまだブランドを浸透させることを目指す。

(2) がんばる養殖復興支援事業の活用

- ・ 事業実施者 : 三陸やまだ漁業協同組合
- ・ 生産契約先又は契約養殖業者名 : 別紙1のとおり
- ・ 実施年度 : 平成24年度～平成28年度
- ・ 取組スケジュール (詳細は別紙2のとおり)

区分	期間	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
検討期間	平成23年11月～ 平成24年5月	←-----→					
事業期間1	平成24年6月～ 平成27年3月	←-----→					
事業期間2	平成24年11月～ 平成28年3月	←-----→					
事業期間3	平成25年11月～ 平成29年3月	←-----→					

(3) 施設復興計画

施設名	所有者 (個人・共同の別)	規格	震災前	復興 1期目	2期目	3期目	活用する 事業名
養殖施設	共同	筏式 12m×4m	104台	77台	77台	77台	水産業共同利用 施設復旧支援事 業
		延縄式 50mダブル	107台	160台	160台	160台	
陸上施設	共同利用 (三陸やまだ 漁協所有)	共同カキ・ ホタテ処理 場	4棟	2棟	2棟	2棟	水産共同利用施 設復旧整備事業
	ろ過殺菌シス テム(共同)		0台	6台	6台	6台	水産共同利用施 設復旧支援事業
	ろ過殺菌シス テム(個人)		5台	0台	0台	0台	
	かき洗浄機 (共同)		0台	5台	5台	5台	水産共同利用施 設復旧支援事業
	かき洗浄機 (個人)		5台	0台	0台	0台	
	電動ホイス ト(共同)		0台	6台	6台	6台	水産共同利用施 設復旧支援事業
	電動ホイス ト(個人)		8台	0台	0台	0台	
	ホタテカッ ター(共同)		0台	7台	7台	7台	水産共同利用施 設復旧支援事業
	ホタテカッ ター(個人)		9台	0台	0台	0台	
	ピンセッタ ー(共同)		0台	7台	7台	7台	水産共同利用施 設復旧支援事業
	ピンセッタ ー(個人)		9台	0台	0台	0台	
	ホタテネ ット洗浄 機(共同)		0台	1台	1台	1台	水産共同利用施 設復旧支援事業
	ホタテネ ット洗浄 機(個人)		1台	0台	0台	0台	
	作業船	共同 利用船	10トン未満 漁船	0隻	7隻	7隻	7隻
個人船		10トン未満 漁船	21隻	7隻	7隻	7隻	

(4) 生産量及び経営体数

① カキ

項 目	震 災 前	復興1期目	2期目	3期目
剥身生産量 (t)	15	0	0	0
殻付生産量 (粒)	722,635	1,512,064	616,064	896,000
生産金額 (千円)	33,872	92,236	37,580	54,656
経 営 体 数	12	13	13	13

② ホタテ

項 目	震 災 前	復興1期目	2期目	3期目
生 産 量 (トン)	65	176	149	149
生産金額 (千円)	22,396	74,412	62,964	62,964
経 営 体 数	12	13	13	13

(5) 復興に必要な経費

全体 (単位:生産量はt及び粒、その他は千円)

項 目	震 災 前	復興1期目	2期目	3期目
収入				
(1)カキ				
生産量 (t)	15	0	0	0
生産量 (粒)	772,635	1,512,064	616,064	896,000
生産額 (千円)	33,872	92,236	37,580	54,656
(2)ホタテ				
生産量 (t)	65	176	149	149
生産額 (千円)	22,396	74,412	62,964	62,964
生産額計	56,268	166,648	100,544	117,620
経費				
人件費	31,481	103,000	56,000	58,000
種苗代	5,151	22,445	15,634	16,390
養殖用資材代	1,074	3,036	1,665	1,665
魚箱・氷代	1,612	5,813	2,368	3,444
販売費	3,153	17,833	11,173	12,813
水道光熱代	2,416	1,819	1,882	1,662
その他の経費	5,536	7,005	6,314	5,610
器具・備品代		300	300	300
修繕費		1,684	1,005	1,176
消費税	697	2,996	2,017	2,153
減価償却費	2,430	7,394	8,198	4,233
施設利用料	851	13,504	12,289	8,296
経費計	54,401	186,829	118,845	115,742
収 支	1,867	▲20,181	▲18,301	1,878
償却前利益	5,148	717	2,186	14,407

<養殖の生産方法>

震災前の養殖生産物の密殖による生育不良の経験を踏まえ、震災後の養殖施設の復旧にあたっては、養殖漁業者の減少に併せた削減ではなく、養殖数に見合った削減を考慮することにより良質の製品を生産し、施設の減少分は良質の製品を生産することによる単価の上昇で補えるような体制の確立を目指し、1年でも前倒しして収穫できるよう努力する。

① カキ

これまでのカキ漁場は施設と施設の間が密集し、船の出入りが難しいほどであったが、養殖施設の間隔を広げ潮通りをよくすることから、品質の良い製品作りに取り組むこととする。また、カキ種苗の成長を促すため分散にあたっては、原盤の調整を行い1枚当たりの種の数をおおく抑えることにより、良質の製品の確保を目指す。

なお、カキの殻付での出荷としているが、殻付での集荷ができない場合加熱用むき身での出荷も行う。

② ホタテ

県内及び北海道から稚貝及び半成貝を購入することにより安定した種苗を確保し、カキの垂下本数を考慮しながらホタテの数量を調整し、更に養殖施設1台の中でも垂下縄の間隔及び長さを考慮し、水揚げ金額の大幅な増額を目指す。

なお、1期目については震災後の早期復興を目指して半成貝を早期に導入し、通常分と合わせて半成貝2群を育成することで、早期に水揚げが得られるようにする。

なお、ホタテは殻付生鮮出荷を行う。

<経費の考え方>

東日本大震災により詳細な経費データを喪失したため、一部関係機関及び漁業者への聞き取り等により作成した。

① 人件費

経費控除後の収益より、事業内容・規模により算出し計上

② 種苗代

カキ・ホタテの種苗の購入に係る種苗代及び運賃を計上

③ 養殖用資材代

カキ・ホタテネットに付けるストンバッグ、垂下ロープに付けるアゲピン、合羽等の消耗品等を計上

④ 魚箱・氷代

殻付カキ出荷に係る箱代、氷代等を計上

⑤ 販売費

全量組合集荷による組合手数料（10%）、県漁連手数料（1%）及び貝毒等検査料を計上

⑥ 水道光熱代

作業場の電気料・水道料、及び漁船の燃油代を計上

⑦その他の経費

漁業権行使料、漁業施設共済掛金、漁船保険料、金利等を計上

⑧減価償却費

新規に導入する養殖施設、カキ用丸ネット、ホタテ 4 分ネット、漁船等の購入に係る減価償却費を計上

⑨施設利用料

生産に係る漁船及び器具機材を、組合員に貸し出す際の利用料を計上

⑩器具・備品代

防舷材、デッキマット等の養殖生産に要する器具等を計上

⑪修繕費

漁船の修理、エンジンオイル等の交換代を計上

6 復興後の目標

(1) 生産目標

項目	震災前		10年後
養殖施設数	カキ 104 台 ホタテ 107 台		カキ 200 台 ホタテ 150 台
陸上施設	かき・ほたて処理場 4 棟		かき・ほたて処理場 2 棟
養殖業者数 常時養殖従事者数 臨時雇用者数	12 経営体 24 人 (経営者含まず) 30 人	⇒	15 経営体 30 人 (経営者含まず) 30 人
生産量	80 トン		100 トン
生産金額	772,635 粒 56,268 千円		1,500,000 粒 150,000 千円

(2) 生産体制

従来より養殖漁業は、漁業者毎に生産管理を行い販売してきたが、今後はこの養殖復興プロジェクト事業を通じ、漁協が整備する共同利用施設等を使用し、共同による生産管理、品質管理、全量漁協販売を徹底することにより、持続可能な養殖漁場の確保及び漁家経営の安定を図り、更には漁協経営の安定化を目指して行く。

7 復興計画の作成に係る地域養殖復興プロジェクト活動状況

実施時期	協議会・部会	活動内容・成果	備考
平成24年 5月17日	第1回 地域養殖復興協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・がんばる養殖漁業及びプロジェクト運営事業の概要について ・会長及び会長代理の選任について ・運営事業実施計画について 	
平成24年 5月17日	織笠地区 カキ・ホタテ養殖部会	<ul style="list-style-type: none"> ・がんばる養殖漁業及びプロジェクト運営事業の概要について ・部会長の選任について ・養殖復興計画の作成支援について 	
平成24年 5月17日	第2回 地域養殖復興協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・織笠地区カキ・ホタテ養殖復興計画の作成について 	
平成24年 11月19日	第6回 地域養殖復興協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・織笠地区カキ・ホタテ養殖復興計画の変更承認について 	